

YAMAHA CS01

SYNTHESIZER



ACCESSORIES



●ブレスコントローラー (BC-1)
CS01本体に接続。息の強さでユニークな効果をつけられるコントローラーです。¥3,000



●電源アダプター (PA-1)
家庭用100VACのコンセントから電源をとる場合に使う電圧変換器。CS01専用。¥2,000



●ヘッドフォン (MH10)
オープンエアタイプ、楽器用ステレオヘッドフォン。ダイナミックレンジの広い中低域が特徴。¥5,500



●ソフトケース (SC-01)
ケースのストラップは外せばそのままCS01の立奏用ストラップになります。¥3,200

仕様	
鍵盤	32 keys F ₂ ~ C ₅
形式	VCO-VCF-VCA-EG-LFO
VCO	PITCH, FEET (4/8/16/32)/WHITE NOISE, PWM SPEED, GLISSANDO
VCF	FREQ CUT OFF, RESONANCE (H/L), EG DEPTH
VCA	EG DEPTH
エンヴェロープジェネレーター	ATTACK TIME, DECAY TIME, SUSTAIN LEVEL, RELEASE TIME
LFO	SPEED
エフェクトコントロール	PITCH BEND WHEEL, MODULATION (WHEEL, VCO/VCF SW)
ブレスコントロール	BREATH CONTROL (VCF, VCA)
アウトプットコントロール	POWER SW/VOLUME
接続端子	LINE OUT: phone 10kΩ, PHONE: 8 - 150Ω, DC IN
コントロール端子	BREATH CONTROL
寸法・重量	48.9W × 3.6H × 16D cm・1.5kg
電源	単3 battery × 6/ AC adaptor PA-1
別売付属品	PA-1 AC adaptor, BC-1 breath controller, SC-01 soft case

*0dB = 775mV



日本楽器製造株式会社
本社〒430浜松市中沢町10-1
カタログに関するお問合せは
〒104東京都中央区銀座7-9-18
日本楽器製造株式会社広告課
1982年3月作成
●規格及び仕様は、改良の際予告なく変更する場合があります。

シンセサイザーのイメージを塗り変えます。
 いつ、どこで、誰が弾いてもサマになるテイクアウトシンセCS01。
 親しみをこめて“Synthea”と呼ぼう。

Let's Take It Out.



PITCH BEND
1オクターブまでの音程変化が得られるホイール型コントローラー。チューニングのテク、自在。

SPEED
モジュレーションでかけるヴィブラート、ワウワウの速さをここで決定。

PITCH
音程を微調整。他楽器とのチューニングに。

WAVE
つくりたい音色に合わせ、音源波形を決めるスイッチ。

FREQ CUT OFF
音の明るさをコントロールするスイッチです。

RESONANCE
フィルターのをききを強調し、音色にくせをつけるスイッチ。

EG DEPTH (VCA)
EGによる音量変化の深さをコントロール。

DECAY TIME
音の初期減衰時における音量、音色の時間的変化を決定。

SUSTAIN LEVEL
鍵盤を押している間の音色、音量レベルを調整。

MONITOR SPEAKER
2ワットのスピーカーを内蔵。専用のアンプにてプレイ可能。

MODULATION
スイッチをVCO側にすればヴィブラート。VCF側にすればワウワウの効果が。

GLISSANDO
ふたつの鍵盤の間を半音階で自動演奏。S側にセットすればホルタメント効果。

FEET
音程を1オクターブ上下に切り換え可能。68鍵の音域をカバー。

PWM SPEED
パルス波音源の自動変化時間をコントロール。音色が自動的に変化します。

EG DEPTH (VCF)
EGによる音色変化の深さをコントロール。

ATTACK TIME
音の立ち上がり時の音量、音色の時間的変化を決定。

RELEASE TIME
鍵盤から指を離れた後の音色や音量の時間的変化をコントロール。

BREATH CONTROL
ブレスコントローラー(別売)をここに接続。息の強さで音色、音量に表情がつけられます。

BREATH CONTROL-VCF
ブレスコントローラーBC-1による音色変化の幅を決めます。

POWER VOLUME
パワースイッチを兼ねたボリュームノブです。

BREATH CONTROL-VCA
ブレスコントローラーBC-1による音量変化の幅を決めます。

LINE OUT
楽器用アンプやPAに接続する場合のアウトプット。プラグインするとモニタースピーカーがオフになります。

PHONES
ヘッドフォン端子。プラグインするとモニタースピーカーはオフに。

DC IN
ACアダプターPA-1(別売)を接続すれば家庭用100VACを電源として使えます。

¥32,000

●誰でも楽しめる。どこでも弾ける。
 縦16センチ、横48.9センチ、厚み3.6センチ、重さ(というより軽さ)1.5キロ。この小さなボディに弾く楽しさ、つくる楽しさがぎゅっつめこまれているから、すごい。シンセサイザーCS01。家庭用電源はもちろん、単3の乾電池が使えて、内蔵の2ワットスピーカーで鳴らして、ヘッドフォンでも聞ける。マイルームで弾くだけではもの足りない。気軽に肩にかけてTake Out。公園、教室、クルマの助手席、スタジオ、ステージ...あらゆる場所がプレイスペース。これは画期的なことではないだろうか。

●サウンドも、そのルックスを裏切らない。
 ヤマハ自信の電子技術を駆使した、シンセサイザー

回路。だから音のよさも納得。例えばVCOの音源波形は5種類。楽器の音から自然音までイメージに合わせて、自由に選べる。音域の切り換えスイッチは4段階。鍵盤数は32でも5オクターブ以上の音域をらくらくカバー。音色をつくるVCFにはローパスフィルターを採用。カットオフとレゾナンスの組み合わせで、繊細な音づくりができる。そして音の立ち上がりから減衰までの音色、音量の変化を自由にコントロールするADSRタイプのエンヴェロープジェネレーター。こういったシンセサイザーの基本性能が、しっかりおさえられている。弾いて楽しむだけでなく、音を分析しひとつひとつ組み立てていく、知的冒険心にも充分に応えてくれます。

●シンセを肩に、スポットライトを浴びよう。
 CS01をステージにもち出す。実によいアイデア。そのために、プロ機種並みのエフェクト類を備えているのですから。なかでも強力なのが息の強さで音色、音量に表情をつけられるブレスコントローラー(別売 BC-1)。息を吹きこむとまるで管楽器のようにレスポンスしてくれます。これ、世界初。その他、ギターのようにチョーキングプレイができるピッチベンドホイール(スプリング内蔵でプレイアビリティ抜群!)や、モジュレーションホイールはステージで立奏しやすいよう、コーナーにレイアウト。もちろんLINE OUTを装備。ストラップで肩から吊ってソロプレイ。かなりキマルと思われま

